

Keifuku Report

株主の皆様へ

けいふく レポート

2017 SUMMER



index

- 01 株主の皆様へ
- 02 京福グループ中期経営計画の進捗
- 05 連結決算ハイライト／事業セグメント別概況
- 07 ニュース&トピックス
- 09 会社情報／株式情報
- 10 株式事務のご案内

 京福電気鉄道株式会社

Keifuku Electric Railroad Co.,Ltd.

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、当社グループの事業運営に平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。当社第111期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の「けいふくレポート」をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

●当期の業績について

当社グループは平成28年4月、グループの「心のよりどころ」を定めた「経営理念」等を刷新するとともに、経営ビジョンを推進するための中期経営計画を策定し公表しました。

「西院駅周辺地域整備事業」につきましては、平成29年3月25日に結節改善・バリアフリー化工事が竣工、阪急電車西院駅との乗換時分の短縮とバリアフリーの向上を実現しました。同年3月1日には、新設ホームに隣接した賃貸マンション「ランフォート西院」が竣工、満室稼働でスタートしました。

当連結会計年度の営業収益は11,665百万円(前期比521百万円、4.3%減)、営業利益は705百万円(前期比7百万円、1.0%増)となり、営業外損益を加減した経常利益は675百万円(前期比23百万円、3.6%増)となり、これに特別利益、特別損失を加減し、法人税等を加味した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は507百万円(前期比138百万円、21.5%減)となりました。

●今後の取組みについて

京福グループ「経営理念」に基づき、「輸送の安全確保」と「高品質なサービス」を追求し、経営ビジョンの中心に据えた「沿線深耕」をキーワードに、交通戦略網の整備や沿線まちづくりを展開してまいります。

京福グループは、中期経営計画を着実に推進することで、「地域になくてはならない企業」へと成長し、地域社会に貢献してまいりますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

経営理念

京福グループは、
安全・安心をブランドの礎とし、
人と社会に貢献します。

「経営理念」は、私たち京福グループの
「心のよりどころ」です。



代表取締役社長

岡本光司

京福グループ中期経営計画(2016年度~2018年度)の進捗

● 中期経営計画の主たる事業戦略

「沿線深耕」を通じたエリア戦略	交通結節の充実による利用者の拡大 地域ブランドの構築 京都地区 嵐電・京都バス・京都市交通局の「シームレス化」による利用促進 福井地区 京福バスを核とする交通インフラのシェア拡大・生活路線としての役割強化
沿線のまちづくり	嵐山駅施設の次なるリニューアル 保有資産の有効活用によるまちづくり
「安全・安心」への継続投資	嵐山線PTC(列車運行管理装置)・CTC(列車集中制御装置)更新等

「沿線深耕」を通じたエリア戦略

◎ 交通結節の充実による利用者の拡大

嵐山線撮影所前駅開業、西院駅結節改善・バリアフリー化の完了

平成28年4月1日、北野線撮影所前駅が開業、JR山陰本線(嵯峨野線)太秦駅との結節改善により乗継利便性を高めました。

また平成29年3月25日の西院駅における阪急電車との結節強化に合わせて、嵐山線のダイヤ改正を実施し、西院駅での阪急電車との乗継改善や早朝夜間時間帯の増便など、さらなる利用促進策を実施しました。

同時に、嵐山線の現業係員の制服のデザインを12年ぶりに一新するなど、ハード・ソフト両面での一層の飛躍に向け新たなスタートを切りました。



平成28年4月1日開業した北野線撮影所前駅



若林陽介近畿運輸局長、門川大作京都市長、杉山健博阪急電鉄副社長(当時)らによるテープカット



新設した西院駅嵐山方面行きホーム



嵐山線現業係員の新制服

京福グループ中期経営計画(2016年度~2018年度)の進捗

●地域ブランドの構築

嵐電沿線屈指の古刹・鹿王院で初の夜間特別拝観を開催

平成28年11月27日から12月10日まで、当社のプロデュースと運営により、鹿王院で初となる夜間特別拝観を開催しました。

予約制・1日100名様限定公開とし、静かに心ゆくまで味わっていただける夜間拝観として好評を得ました。

今後も沿線関係先と継続的に連携し、魅力ある沿線づくりを進めるとともに、新たな商品の開発や国内外からのお客様の誘致に取り組みます。



宵闇に浮かび上がる鹿王院庭園の紅葉と舍利殿

●嵐電・京都バス・京都市交通局の「シームレス化」による利用促進

京都バス(株) 京都市バスとの「シームレス化」をさらに推進

平成27年11月からICカードシステムを導入した京都バスは、京都市バスとの相互乗車ができる均一運賃区間の拡大、バス停名称の統一など、京都市交通局との「シームレス化」を推進しており、平成29年4月からはIC定期による相互乗車、ICカードによる乗継割引サービスにも参画、利便性向上と利用促進策を実施しています。

4月から発売された「市バス・京都バス・嵐電一日乗車券カード」。市バス・京都バス均一運賃区間内と嵐電全線が1日乗り降り自由。



●京福バスを核とする交通インフラのシェア拡大・生活路線としての役割強化

京福バス(株) JR福井駅西口広場への乗り入れ開始

京福バス(株)は、平成28年3月からJR福井駅西口広場バスターミナルへの乗り入れを開始、100円運賃区間の設定、乗車券発売所の新設など、地域を支える交通機関としての役割強化に取り組んでいます。

さらに、平成30年の福井国体の開催や新幹線の県内延伸を見据え、グループの貸切バス事業の受注機能を集約した「貸切バス受注センター」を設置、グループでの受注拡大や効率的な配車体制の整備、高品質なサービスの提供を進めています。



JR福井駅西口広場バスターミナル

沿線のまちづくり

●嵐山駅施設の次なるリニューアル コンパクトホテル「ファーストキャビン」導入決定

嵐山駅はなんなり・ほっこりスクエアの2階・3階にコンパクトホテル「ファーストキャビン京都嵐山(仮称)」を導入します。大部分を女性専用とし、屋上には周辺の景観が望めるラウンジを新設します。

嵐山でご宿泊いただき、早朝からの嵯峨嵐山観光や座禅体験など、地域と連携した「朝観光」による新たな嵐山の魅力創造を目指します。(平成30年3月開業予定)。



ホテル館内イメージ

●保有資産の有効活用によるまちづくり 新京福西院ビル「ランフォート西院」竣工

平成27年9月より建築を進めてきた地上8階建の賃貸マンション「ランフォート西院」が、平成29年3月に竣工しました。1階はコンビニエンスストア、2階以上は単身用・ファミリー用を兼ね備えた住居で、立地の良さによる利便性だけではなく、24時間管理など、安全・安心な生活のための設備も充実しています。



「ランフォート西院」と嵐山方面行き電車

「安全・安心」への継続投資

●嵐山線PTC(列車運行管理装置)・ CTC(列車集中制御装置)の更新

西院駅結節・バリアフリー化工事に合わせ、PTC(列車運行管理装置)・CTC(列車集中制御装置)の更新工事を実施、「輸送の安全確保」に向けた計画的な投資を進めました。



新運転指令所

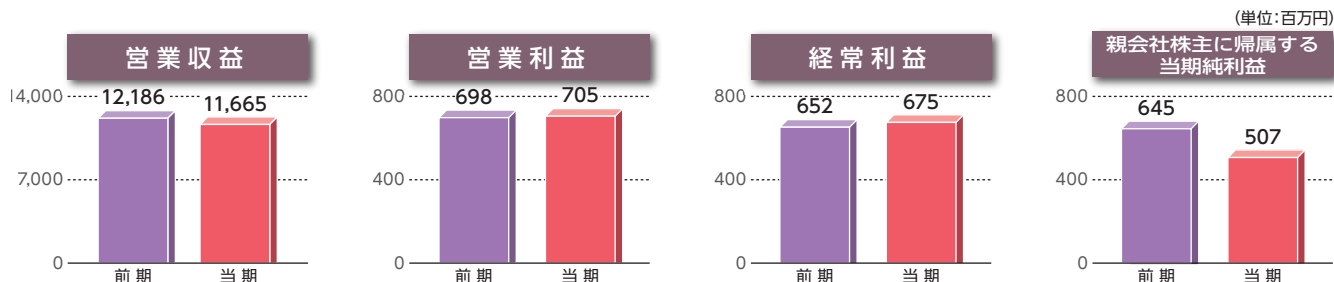


PTC・CTC機器本体

● 連結決算ハイライト／事業セグメント別概況

当連結会計年度は、収入面では、国内外の観光旅客の増加や北陸新幹線の金沢駅開業効果は落ち着きを見せ始めたものの、原油価格が低水準で推移し、動力費はじめ光熱費が大幅に削減されるとともに、各種費用でもコスト管理の徹底に努めました。

● 連結決算ハイライト

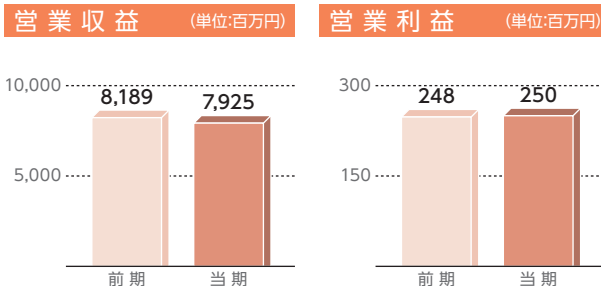


運輸業

嵐山線、鋼索線(叡山ケーブル・ロープウェイ)では、秋口の週末毎の悪天候や、連続休日の減少で、運輸収入は低調に推移しましたが、嵐山線でアニメ・ゲームとのコラボイベントを開催するなど、増収に努めました。

京都バス(株)はICカードシステム導入効果が通勤・通学路線において顕著に表れたほか、貴船線等堅調な観光需要に支えられて増収傾向が持続、京都市バスとの均一運賃区間の拡大など「シームレス化」による旅客の利便性向上と利用促進策も推進しました。

京福バス(株)は、JR福井駅西口広場バスターミナルへの乗り入れに合わせた、100円運賃区間の設定などの各施策に加え、観光路線の運行の充実等にも取り組んだこともあり、路線バス運送収入が堅調に推移しました。



不動産業

不動産販売事業では、(株)京福コミュニティサービスが、福井市「古市(ふるいち)二丁目」分譲土地を完売しました。

不動産賃貸事業では、平成28年9月に、北野白梅町駅に近接する地上4階建の単身者用賃貸マンション「ランフォート北野白梅町」を取得、「ランフォート西院」と合わせ、安定的な賃貸収益の確保を図りました。

「BOAT RACE (ボートレース) 三国」は、インターネット投票促進や情報提供サイトの充実、初心者用特別観覧席「ROKU(ロク)」や外向発売所「ディアボート三国」などの施設の活用により、ファン獲得に取組みました。

レジャー・サービス業

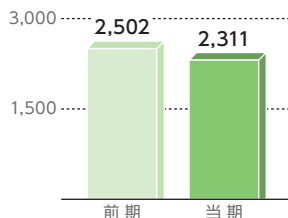
飲食業では、「八幡家(やわたや)」が開店7周年を迎え、記念イベントなどによる顧客獲得に取組みました。

物販業では、嵐山駅構内の臨時売店や、アニメゲームとのコラボイベントを実施した「RANDENバル」が多くのお客様にご来店いただきました。

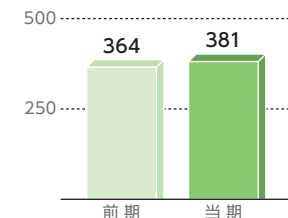
福井地区では、三国観光ホテルで、関東方面からのお客様の誘致や、結婚披露宴の獲得、音楽イベントの開催などによる近隣のお客様への営業活動の実施、新たな宿泊プランの販売などに取組みました。

越前松島水族館では、平成28年3月に「ジュラチック・アクアリウム」、平成29年3月に「マンボウ・売店棟」をオープンするなど、新たな企画・展示の充実でお客様の誘致に取組みました。

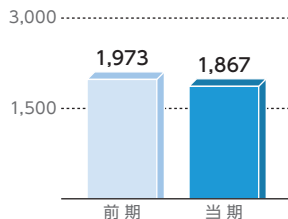
営業収益 (単位:百万円)



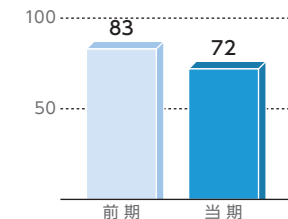
営業利益 (単位:百万円)



営業収益 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



● 嵐山線 501形車両をリニューアル

501形(501号車、502号車)車両は、昭和59年に嵐電で初めての冷房車として誕生し、当時は扉の位置や運転席が他の車両と異なり注目されましたが、乗降口が狭く後部扉が車両中央寄りにあるなど、乗降も運用も不便な車両でした。平成28年秋に乗降口の位置や広さを他の車両と同様のものとし、車椅子スペースの設置などバリアフリー対応や嵐電で初めてのLED表示器の導入などリニューアルを実施しました。



LEDで行先を4か国語表示できる501形車両



新たに取得した工場での钣金修理



大衆海鮮酒場「たら福」

● 京福バス(株)の新規事業 钣金事業と直営飲食店「たら福」

京福バス(株)は、平成28年9月より钣金事業を開始しました。これまでの車検や点検、故障修理に加え钣金修理も受注することにより、お客様がさらに利用しやすい自動車整備事業を行います。

平成29年1月17日には、福井駅前に直営飲食店「大衆海鮮酒場『たら福』」を出店しました。県庁や市役所から徒歩数分の好立地で、地元の方をはじめ、福井出張者、観光のお客様もターゲットとしています。

● 福井地区不動産事業 積極的な不動産販売と グループ保有土地の活用を検討

(株)京福コミュニティサービスでは、元は織物工場があった福井市森田地区で「古市二丁目」分譲土地を完売させ、中古物件のリフォーム販売も積極的に実施しました。また、旧越前線福井口車庫周辺のグループ保有土地の活用策を、福井地区のグループ全体の取り組みとして検討しています。



古市二丁目分譲土地



旧越前線福井口車庫の跡地

● 越前松島水族館(三国観光産業株) レジャー施設として、学術要素にも対応できる水族館として

本年3月、「マンボウ・売店棟」をオープンし、「マンボウ水槽」の新設や「おみやげショップ」のリニューアルを行いました。また、福井県立大学と県立若狭高校の共同研究により養殖された、福井県の一部地域で天然記念物に指定されている高級魚「アラレガコ」を展示するなど、今後もお客様が楽しんで学べ、研究にも貢献できる施設として営業していきます。



越前松島水族館のマンボウ水槽



退蔵院・松山副住職のユーモアあふれる講演でなごむ会場

● 嵐電ブランドの強化と発信 「嵐電 心の時代講演会」を開催

昨年10月23日、妙心寺塔頭退蔵院にて「嵐電 心の時代講演会」を開催しました。「心」をテーマにしたこの講演会は、平成21年より開催しており、今回は「京都観光おもてなし大使」も務める退蔵院副住職・松山大耕さんにおもてなしの本質についてご講演いただきました。嵐電ブランドの強化、発信にもつながるこの講演会を今後も引き続き開催していきます。

● 熊本地震復興支援活動を実施

「人と社会に貢献する」経営理念に基づき、昨年4月に発生した熊本地震に対する復旧復興支援活動として、熊本県への観光を呼びかける復興支援メッセージの嵐電、京都バス、京福バスの車体への掲出、募金活動などにグループ全体で取り組みました。

お客様や地域の皆様からお預かりした義援金は、当社グループの義援金とともに熊本県にお届けしました。ご支援ご協力に厚く感謝申し上げます。



福井地区での支援活動に感謝して京福バス(株)をくまモンが訪問

会社情報 / 株式情報

● 会社概要 (平成29年3月31日現在)

社名	京福電気鉄道株式会社 (Keifuku Electric Railroad Co.,Ltd.)
設立	昭和17年3月2日
運輸開始	明治43年3月25日(四条大宮～嵐山間)
資本金	10億円
従業員数	110人
本社所在地	京都市中京区壬生賀陽御所町3番地の20
福井事務所	福井市日之出1丁目6番14号
鉄道部事務所	京都市中京区壬生淵田町18番地

● 役員 (平成29年6月21日現在)

取締役会長	下條 弘 (しもじょう ひろむ)
代表取締役社長	岡本 光司 (おかもと みつじ)
常務取締役	天谷 幸弘 (あまや さちひろ)
常務取締役	水田 潤二 (みずた じゅんじ)
取締役	増田 寿男 (ますだ ひさお)
取締役	長尾 拓昭 (ながお ひろあき)
取締役	吉川 奈奈 (ぎつかわ なな)
取締役	大柳 雅利 (おおやなぎ まさとし)
常勤監査役	木村 靖夫 (きむら やすお)
監査役	山川 雄二 (やまかわ ゆうじ)
監査役	市田 龍 (いちだ りょう)

● 京福グループ会社のご紹介 (平成29年3月31日現在)

京都バス株式会社	福井交通株式会社
京福バス株式会社	株式会社京福コミュニティサービス
京福リムジンバス株式会社	京福商事株式会社
京福タクシー株式会社	三國観光産業株式会社
ケイカン交通株式会社	

※京都バスタクシー株式会社は平成29年3月31日をもって解散しました。

● 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	20,000,000株 (自己株式109,316株を含む)
株主数	2,676名

● 大株主の状況 (平成29年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
京阪ホールディングス株式会社	8,579	43.13
日本駐車場開発株式会社	1,117	5.62
日本生命保険相互会社	933	4.69
株式会社京三製作所	330	1.66
三井住友信託銀行株式会社	200	1.01
財務大臣	188	0.95
東京海上日動火災保険株式会社	174	0.87
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	152	0.76
京都中央信用金庫	150	0.75
吉田澄子	123	0.62

(注)持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

株式事務のご案内

● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日(定時株主総会・期末配当)	毎年3月31日(そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日)
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
各種お問合せ先 郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告によって行います。公告掲載URL [http://www.keifuku.co.jp/] ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、京都市で発行する京都新聞に掲載して行います。

株式に関するお問合せ先

株主に関するお手続き(住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取の請求など)のご照会およびお届出につきましては、証券会社に口座開設をされているか否かによってお問合せ先が異なります。

証券会社に口座を開設されている株主様

口座を開設されている証券会社にご連絡ください。

証券会社に口座を開設されていない株主様(特別口座の株主様)

三井住友信託銀行 証券代行部

● 株主様へのご案内・お知らせ

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。特別口座の株主様は、特別口座の管理人である三井住友信託銀行にお申出ください。

● 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお申出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定にもとづく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

● マイナンバーのお届出に関するお問合せ先

株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。証券会社とのお取引がない株主様は株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお問い合わせください。

● 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。お届出いただいたマイナンバーは法令に定められた通り、配当金に関する支払調書、単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書などの支払調書に記載し、税務署へ提出いたします。

三井住友信託銀行 証券代行部

電話 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 平日9:00~17:00 土・日・祝日
ホームページ www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主優待のご案内

● 株主ご優待制度

株主優待乗車券・乗車証(年1回発行)

ご所有株式数	ご優待内容	枚数	
5,900株以上	嵐山線・鋼索線乗車証	1枚	
9,600株以上	京福バス回数乗車券	70枚	
12,000株以上	① 嵐山線・鋼索線乗車証	1枚	①または②のいずれかをご希望によりご選択
	京福バス回数乗車券	70枚	
19,200株以上	② 京福バス全線乗車証	1枚	
	嵐山線・鋼索線・京福バス全線共通乗車証	1枚	

※ただし、いずれの乗車証、回数券とも京福バスの高速バス、特定路線にはご乗車いただけません。

嵐山線・鋼索線 嵐電全線と叡山ケーブル(ケーブル八瀬～ケーブル比叡)にご乗車いただけます。

京福バス 高速バス、コミュニティバスなどの特定路線を除く路線バスにご乗車いただけます。
ご乗車いただけない路線についての詳細ご案内は、回数券、乗車証とともにお届けします。

毎年3月31日を基準日として、株主の皆様に対し、ご所有の株式数に応じて株主優待乗車証類を贈呈いたします。

有効期間 6月1日から翌年5月31日まで
お届けの時期 5月下旬
お届けの方法 郵送いたします

● 株式に関するご案内

● 単元株式数の変更および株式併合について

当社は、平成29年10月1日をもって、当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、平成29年9月30日(実質上、同年9月29日)の最終の株主名簿に記載された株主様のご所有株式数10株につき1株の割合で併合いたします。

なお、この単元株式数の変更および株式併合に伴う**株主様による特段のお手続きの必要はございません。**

● 株式併合による影響

所有株式数	株主優待制度
株式併合後の株主様のご所有株式数は、平成29年9月30日(実質上、同年9月29日)の最終の株主名簿に記載された株式数に10分の1を乗じた株式数(1株に満たない端数がある場合はこれを切り捨て)となります。株式併合の結果、1株に満たない端数株式が生じた場合には、当社が会社法の定めにもとづき一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主様に対し、端数の割合に応じて、分配いたします。	・株主優待制度については、併合割合に応じて、発行基準を変更しますが、 実質的な発行基準に変更はありません。 ・当該基準については、 平成30年3月31日(実質上、同年3月30日)の最終の株主名簿に記載された株主様への発送分(同年5月下旬予定)より運用 いたします。

お問合せ先

単元株式数の変更および株式併合に関してご不明な点がございましたら、お取引のある証券会社または右記の株主名簿管理人にお問合せください。

【株主名簿管理人】三井住友信託銀行 証券代行部
☎ 0120-782-031 (銀行営業日の9:00～17:00)

京福電気鉄道株式会社

京都市中京区壬生賀陽御所町3番地の20 TEL 075-841-9381(管理部)
ホームページアドレス <http://www.keifuku.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

